

行け行け！かまぼこ調査隊

第1回「まい研」地域調査が本格的にはじまる！

～地元の良さを調べる！「舞鶴のかまぼこ」編～

「かまぼこと地域調査」の調査票づくり

地域調査をはじめるとあたり、かまぼこ調査隊のメンバーで「かまぼこ地域調査」の計画づくりを5月11日(日)に、西駅交流センターで、調査隊アドバイザーの大貝さん(京都大学)の参加のもと、ワークショップ方式で行いました。

まずは、メンバーそれぞれがポストイット用紙に「何を調べたいのか?」「何を聞きたいのか?」を書いてもらい、それをホワイトボードに貼って、意見を出し合いました。

「何を調べたいのか?」では、企業・製造、消費者、製品の安全性・価格、政策な

どに分けて整理し、「何を聞きたいのか?」では、調理方法、商品知識(セールスポイントなど)購入動機、値段、食べる回数など具体的な意見が出されました。これらの意見などに基づいて、調査票づくりをおこないます。



調査計画のワークショップの様子

かまぼこ工場の見学

6月5日(木)、(株)嶋七(嶋田克巳社長)のかまぼこ工場の見学を実施しました。今回の工場見学は、かまぼこ調査をスタートするにあたって、「かまぼこがつくられる現場を見ておきたい」という調査メンバーの要望により実施しました。朝9時に集合し、まずは、工場に入る前に見学用の白い長靴に履き替え、頭にはキャップをつけて、嶋田社長の案内で工場に入りました。

(裏面に続く)

「まい研」の第13回定例会の案内

1. 日時 6月24日(火) 19:00～21:00
2. ゲスト 坂根康弘さん(若狭湾生物同好会事務局長)
3. テーマ 若狭湾生物同好会の設立目的と活動紹介
4. 会場 西駅交流センター2F 会議室1

「若狭湾生物同好会」は、1971年に発足し、プロ、アマチュアの生物研究家が、地元の自然環境保護や野生生物の保護と保全に頑張っています。会員数約70名。

(表面から)

今回の見学目的は、すりみを食塩や調味料などを加え、よく練り上げて成形、そして蒸し、包装工程を見ることです。嶋田社長の具体的で丁寧な説明により、ひとつおりの工程が実感できました。私ごとですが、舞鶴で生まれ、地元のかまぼこを「美味しいなあ」と思ってきましたが、かまぼこの製造現場を見るのは初めてでした。これからの地域調査に役立つ見学となりました。

工場見学のあとは、舞鶴蒲鉾協同組合参事の辻義雄さんから、舞鶴かまぼこの特徴、組合の課題と方向性等についてお話を聞きました。

協同組合の事業内容として、原材料の共同購入、共同加工(すりみ工場)、製品の共同販売、営業資金の融資、共同検査(研究室)、教育情報の提供があります。

特に辻さんからは、「市民に愛される『かまぼこ』をめざしたい」「魚の顔が見える『かまぼこ』でありたい」と全国で数少ない地域全体で生すりみを使用している「舞鶴かまぼこ」について熱く語ってもらいました。(この内容については、9月23日発行予定の報告書でお知らせする予定です。)



嶋田七の嶋田社長から説明を受ける

「かまぼこ地域調査」第1次報告会の案内

1. 日時 7月6日(日)13:30~17:00
2. 会場 西駅交流センター 2F会議室1

かまぼこ製造者へのヒアリング調査

この日は、かまぼこ製造者へのヒアリングのための内容を話し合い、調査メンバーを2つの班に分け、舞鶴蒲鉾協同組合の組合員であるかまぼこ製造者の(株)嶋七、高作商店、藤六商店、(株)嶋岩、丸海食品(株)に早速、聞き取り調査の依頼状を持って、調査のお願いにいきました。

かまぼこ製造者へのヒアリング調査日程

製造者名	日時	集合場所	備考
(株)嶋岩	6月14日(土)13時30分~	(株)嶋岩	
丸海食品(株)	6月15日(日)10時~	丸海食品(株)	工場見学あり
藤六商店	6月15日(日)17時~	藤六商店	
高作商店	6月16日(月)13時15分~	高作商店	
(株)嶋七	6月17日(火)13時~	協同組合	

調査隊メンバー以外でもヒアリング調査に参加したい方は事務局まで連絡をお願いします。

ご案内 第50回自治体学校 in おおさか

日時 7月26日(金)~28日(日)
会場 吹田市文化会館メインシアター・大ホールなど
スローガン 今こそ いのちと地域を守る地方自治を!

今回も「まい研」から参加します。
詳しくは事務局まで。

